

『思い出』

百敷や 古き軒端の しのぶにも
なほあまりある 昔なりけり

順徳院

[現代訳]

宮中にある古びた軒から下がっている「忍ぶ草」を見るにつけても、しのんで
もしのびつくせないほどのものは、古きよき時代のことであるよ

作者は順徳院。

古きよき時代とは天曆の治とよばれた村上天皇の時代、天徳内裏歌合が有名で
す。

後鳥羽院と共に承久の乱に参加し、佐渡島に遠島となり生涯を終えました。
百人一首とは別にこの歌とよく似た歌があります。

百敷の庭の橋おもひ出でて さらに昔をしのぶ袖かな 土御門院

古郷をしのぶの軒に風すぎて 苔のたもとににほふ橋 後鳥羽院

土御門院は兄、後鳥羽院は父にあたります。

3人とも宮中の古き良き時代について歌に詠んでいます。

3人に共通する思い出があるのかもしれない。

山陽小野田かるた協会 小田広行